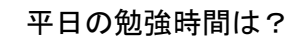
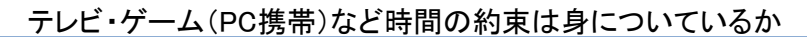
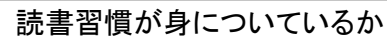


京都市立市原野小学校

本校では、子ども、保護者・地域の皆様の願いをしっかりと受け止め、学校改善を図ることをねらいに、年間計画に沿って、学校評価を計画的に実施しています。そして、その結果を考察・分析して、改善策を見出し、取組を進め、学校の教育力を高めていくサイクルを大切にしています。下記に7月に実施しました学校評価の結果を公表させていただきます。今後の学校の取組の改善に生かしていきます。アンケートへのご協力、ありがとうございました。

グラフは左から、良くできている・大体出来ている、あまり出来ていないのように、凡例の上からの順になっています。



・子ども同士が仲良く すること。	・子どもが楽しく 学校に行くこと。
・学校が学校・学年・ 学級だより等で、教育 活動を分かりやすく伝 える	・安全に習う。早起 き。子のよ。子。早 安。子のよ。子の慣 が。とが。つとが。寝 もり。こ者。挨にこ者。早。生くも。 ど守す。護。身。る。護。朝なつと。ど。 子を。保にがす。保に。的に。子に。 り過。も慣に。もき本身体。的と。
	・子どもが、家で進 んで本を読むこと。

これまで、学校評価の分析をするにあたり、生活習慣の経年変化を見て参りました。

しかし今回は、もう一度、今年度の市原野校のアンケートから見えてくる子ども達の実態をグラフ化しました。

保護者アンケートでは、質問内容の大切さと、そのことが現在できているかについてお尋ねをしました。

両方が高くなっているもの(楽しく学校に行く・子ども同士が仲良くなる)は、子どもたちのがんばりや、学校・家庭の取組が充実しているもの、頑張っており取り組んでいる内容と言えます。

一方、大切であり、現在できていないもの(意欲的に学習する・家で進んで本を読む)は学校や家庭の実態であり、課題と言えます。

テレビ・DVDやゲーム(PC・携帯)については、低学年では守れていた約束が、高学年になると守られなくなってきている実態が見えてきます。

6年生に平日の勉強時間を聞きますと、合計で、全国が63.2%、京都府が60.4%に対して、本校は35.6%でした。土日の勉強でも同じ傾向が見られます。

学校運営委員会理事様のご意見

○子ども同士仲良くしたり楽しく学校に行くことができていたりするのは、とても喜ばしいことです。

○テレビ・ゲームの時間の約束はできている割合が半数ありましたが、勉強時間が少ないのはとても残念です。

○ゲーム・テレビ・インターネットに使ってしまう時間が長い子どももほど学力も育たず、生活も乱れがちなのは年齢を重ねるにつれ強くなる傾向を感じます。本を楽しめる読解力・心と体を使って遊ぶ・お手伝いをする楽しさ。これらを生活の中で育むことを粘り強く実行していきたいものです。私は、ゲームをしませんがとても魅力的で、時間が経つのを忘れてしまう程引き付けられるものだそうです。これには私たち大人の確固とした関わりが必要だと強く感じます。

○年々、テレビやゲーム等のバーチャルな遊びをする子が増え、休みや屋外で遊ぶ子が少なくなっているように感じます。人と人との関係がうまく育めない子が増えるように思えて大変心配です。